

株式会社 **山善**

2017年3月期

決算説明会

amaze! in
YamazeN.

驚きは、山善の中にある。

2017年5月25日

代表取締役社長(CEO&COO) **長尾 雄次**

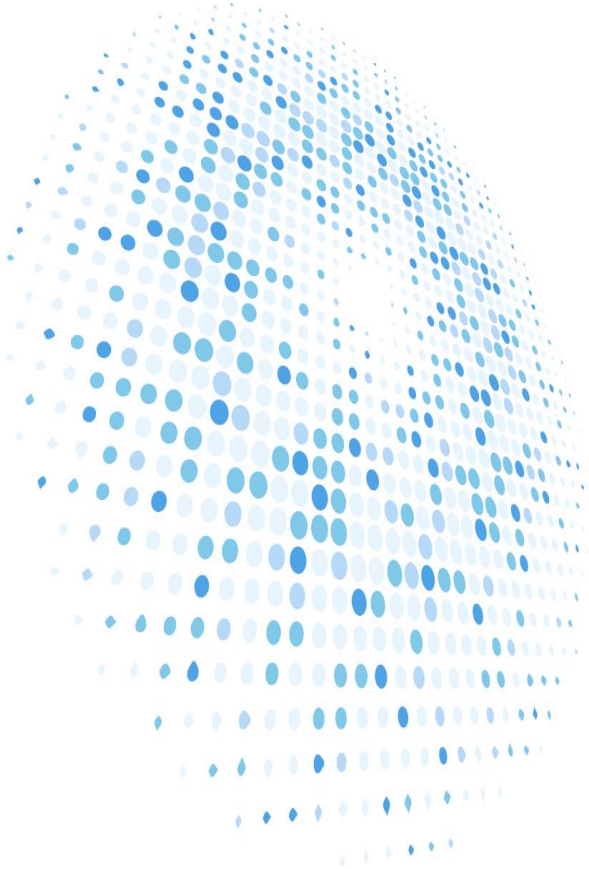
AGENDA

I. 第71期(2017年3月期)のふりかえり

II. 「ONEXT YAMAZEN 2018」の進捗と
会社のトピックス

III. 第72期(2018年3月期)の取り組み

IV. 株主還元



はじめに



我々は“変化対応業”である



感性を研ぎ澄ませ、
忍び寄る変化に対応します

利益 = お役立ち料 + 人間力



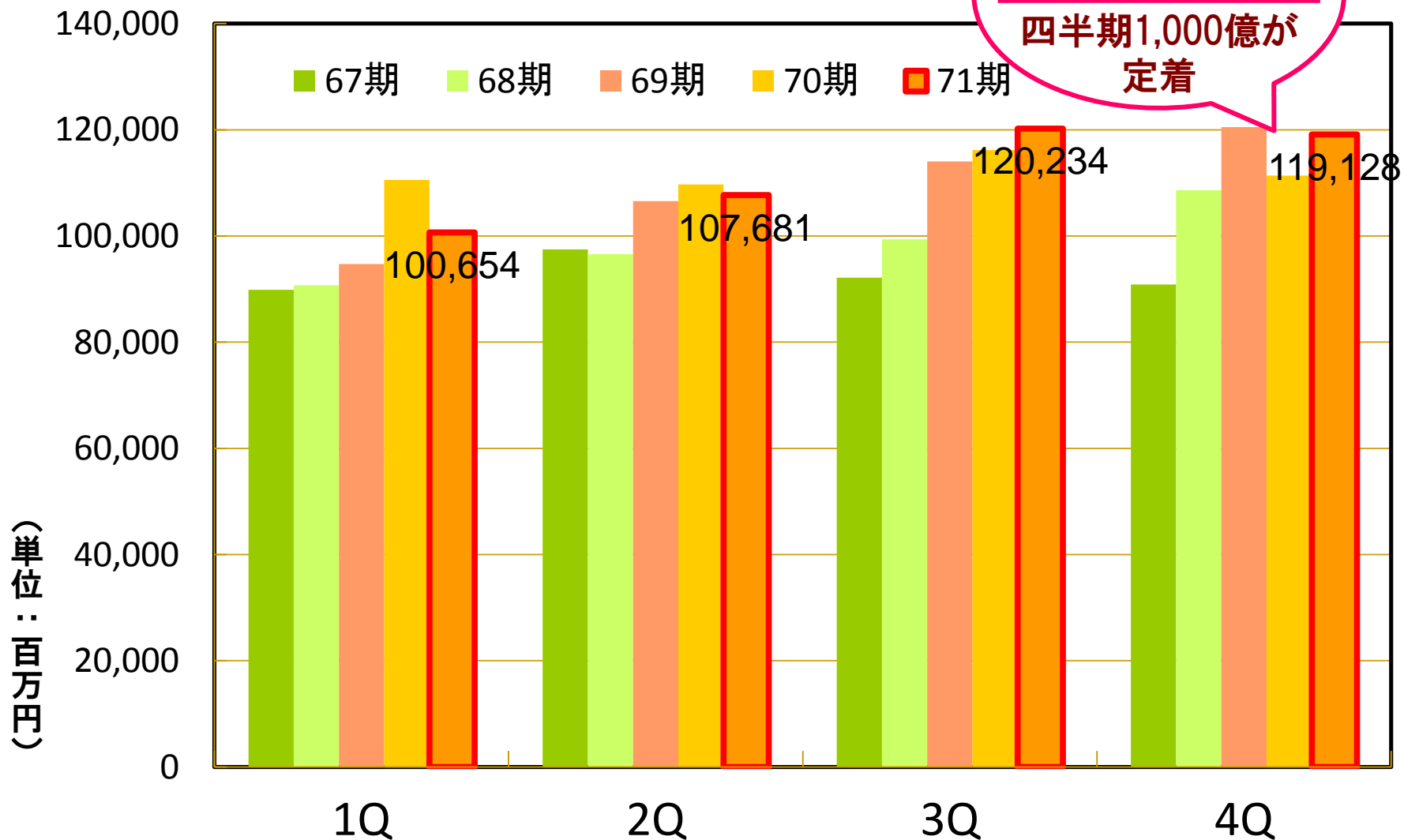
I. 第71期(2017年3月期)のふりかえり

■ 連結損益計算書

(単位:百万円)	2016年3月期 (第70期)	2017年3月期 (第71期)	前 期 比 増 減 率 %	公表計画	公表計画 対 比 %
売 上 高	447,774	447,698	△0.0	460,000	97.3
売上総利益	57,542	57,906	0.6	—	—
(総利益率)	(12.9%)	(12.9%)	(0.0)		
販売管理費	44,284	44,793	1.1	—	—
営業利益	13,258	13,113	△1.1	13,300	98.6
営業外損益	245	△182	—	—	—
経常利益	13,503	12,931	△4.2	13,600	95.1
特別損益	156	75	—	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,192	8,518	△7.3	8,700	97.9

➤ 過去最高であった70期に迫る売上高も、全体では減収減益。

■ 四半期比較(過去5年)



■ 事業別売上高／公表計画対比

(単位:百万円、%)	2016年3月期 (第70期)	2017年3月期 (第71期)	前期比 増減率%	公表計画	公表計画 対比%
機 械 事 業 部	142,037	133,250	△6.2	136,000	98.0
機 工 事 業 部	148,564	150,938	1.6	157,000	96.1
S E 部	17,515	17,997	2.8	17,000	105.9
(生産財関連計)	308,117	302,187	△1.9	310,000	97.5
住 建 事 業 部	56,419	58,171	3.1	63,000	92.3
家庭機器事業部	75,169	79,151	5.3	80,000	98.9
(消費財関連計)	131,589	137,323	4.4	143,000	96.0
そ の 他 部 門	8,067	8,188	1.5	7,000	117.0
合 計	447,774	447,698	△0.0	460,000	97.3

(単位:百万円)

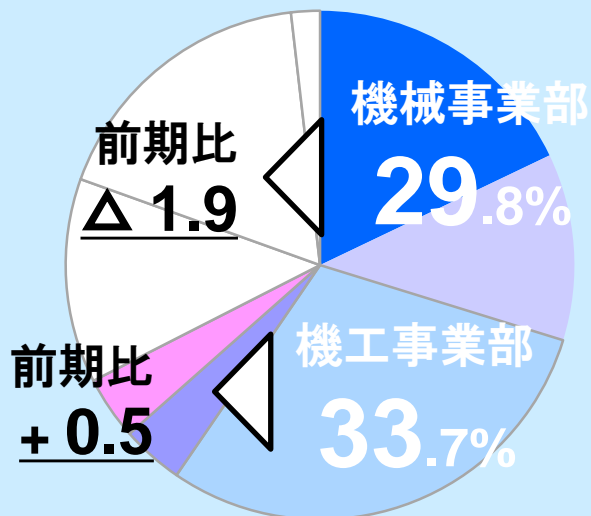


**2016年3月期
経常利益**

**2017年3月期
経常利益**

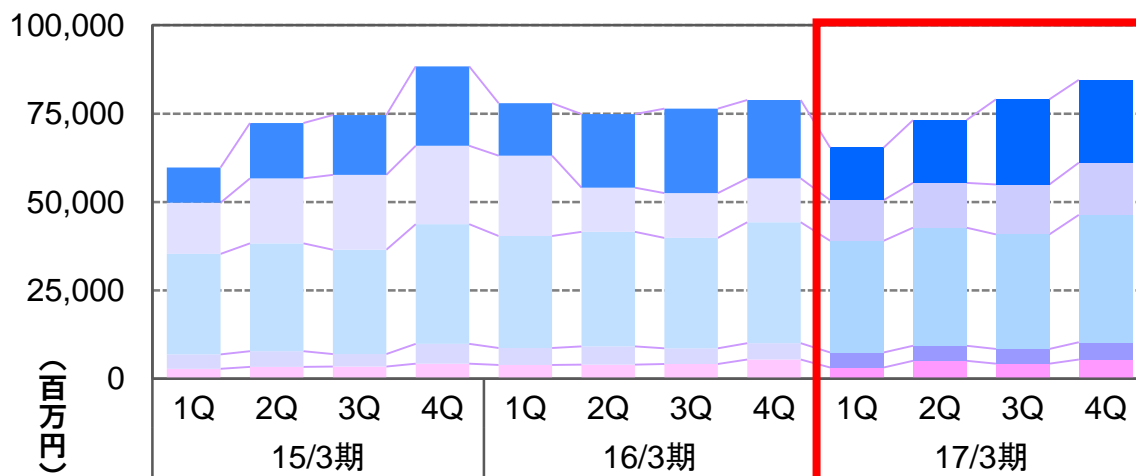
(単位:百万円)			2016年3月期	2017年3月期		
生産財	生産財合計	売上高	308,117	302,187	(増減率)	△1.9%
		営業利益	11,086	10,373	利益率	3.4%

売上高構成比



- 生産財事業を再編し、生産財統括の元に、それぞれ国内事業と海外事業を持つ機械事業部と機工事業部を設置。
- 国内5営業本部、海外4営業本部の計9営業本部体制へ。

四半期売上高推移(直近3年)



■ 生産財事業の売上高内訳

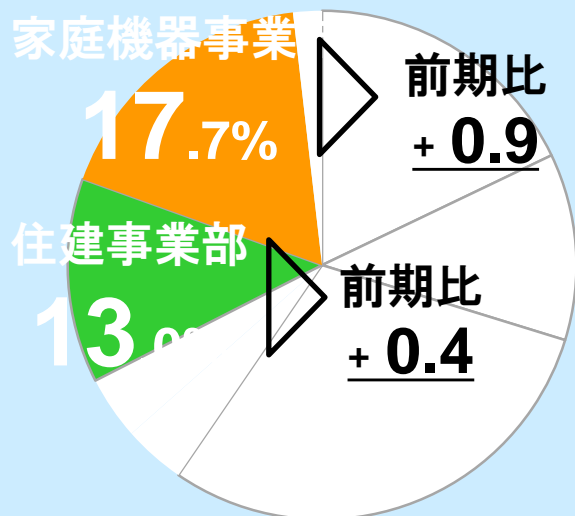
(単位：百万円)			2016年3月期	2017年3月期		
生	機械事業部	(国内)	81,746	80,121	(増減率)	△ 2.0%
		(海外)	60,291	53,129	(増減率)	△ 11.9%
		合計	142,037	133,250	(増減率)	△ 6.2%
産	機工事業部	(国内)	129,456	133,358	(増減率)	3.0%
		(海外)	19,108	17,580	(増減率)	△ 8.0%
		合計	148,564	150,938	(増減率)	1.6%
	システムエンジニアリング部		17,515	17,997	(増減率)	2.8%
財	生産財	合計	308,117	302,187	(増減率)	△ 1.9%

- 国内機械事業では、先行きの不透明感から設備投資に対して慎重になる傾向が見られ、工作機械の販売は前年同期に比べ減少。
- 海外機械事業では、中国景気の減速が続いたが、年後半からはEMS向けの工作機械の需要が伸長し、受注が盛り返す。
- 国内機工事業では、工作機器、測定機器、また補要工具や切削工具等の出荷が緩やかながらも上向きに推移し、とりわけ鉄骨・鍛圧機器は前年を大きく上回る受注となる。

(単位：百万円、%)	2016年3月期 (第70期)	2017年3月期(第71期)	
	売 上 高	売 上 高	(前年比)
大阪営業本部	62,827	61,892	99%
東日本営業本部	79,477	82,320	104%
名古屋営業本部	39,926	39,645	99%
九州営業本部	16,531	16,920	102%
広島営業本部	12,941	12,725	98%
U S A 営業本部	12,354	12,085	98%
台湾営業本部	20,801	11,369	55%
中国営業本部	27,299	24,387	89%
アセアン営業本部	18,931	21,285	112%

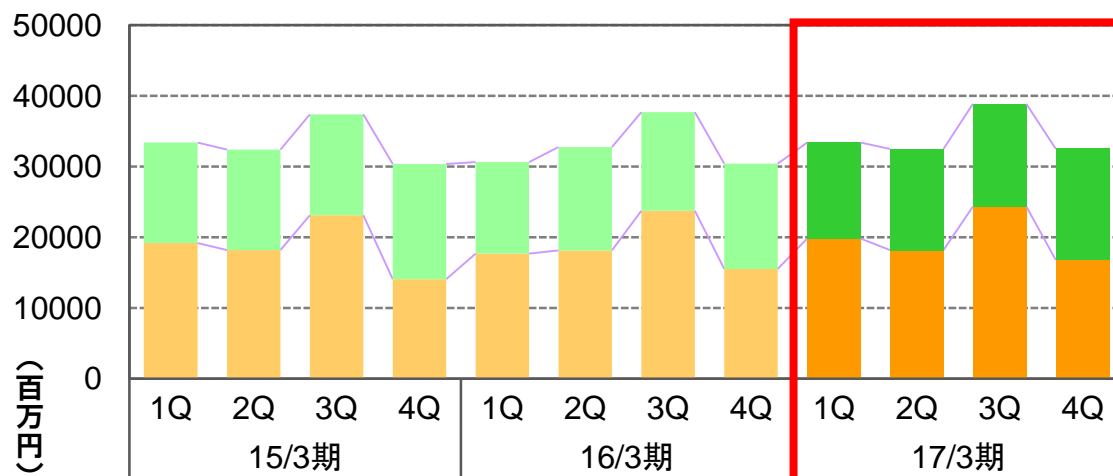
(単位:百万円)			2016年3月期	2017年3月期		
消費財	住建事業	売上高	56,419	58,171	(増減率)	3.1%
		営業利益	1,360	1,434	利益率	2.5%
	家庭機器事業	売上高	75,169	79,151	(増減率)	5.3%
		営業利益	2,511	2,797	利益率	3.5%

売上高構成比



- **住建**は主力の水廻り、空調機器に回復が見られ、増収増益。
- **家庭機器**は、後半の天候不順に苦しむも、家事家電、ペット関連伸長。「質」の改善にこだわり、増収増益。

四半期売上高推移(直近3年)





生産財

機械事業部

機工事業部

消費財

住建事業部

家庭機器事業部

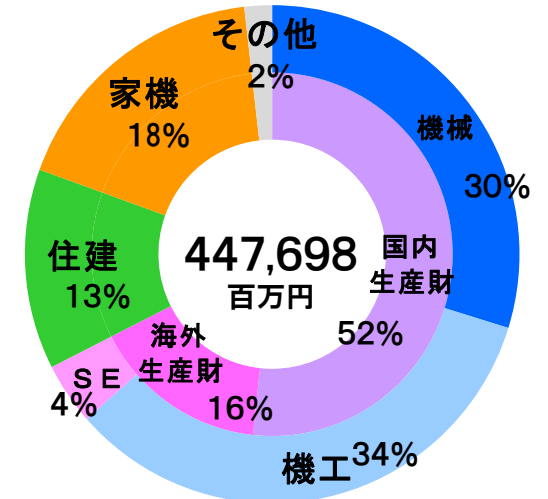
国内



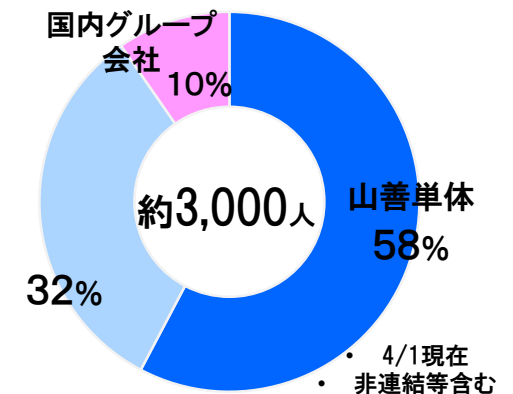
海外



売上高構成比



人員構成比



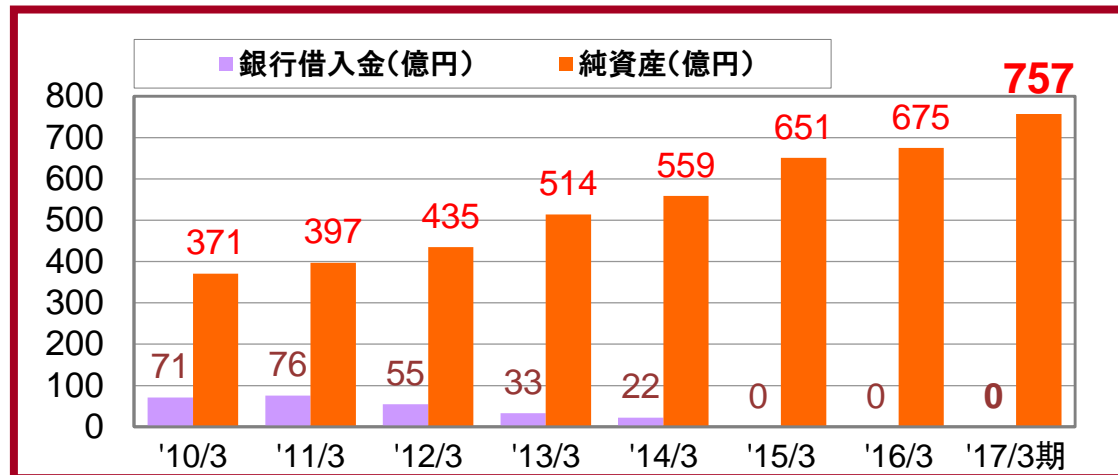
■ 貸借対照表

資産	負債・純資産
流動資産 1,903 (+79)	流動負債 1,347 (+45)
	固定負債91(△15)
固定資産 292(+33)	純資産 757 (+82)
総資産2,195(+111)	

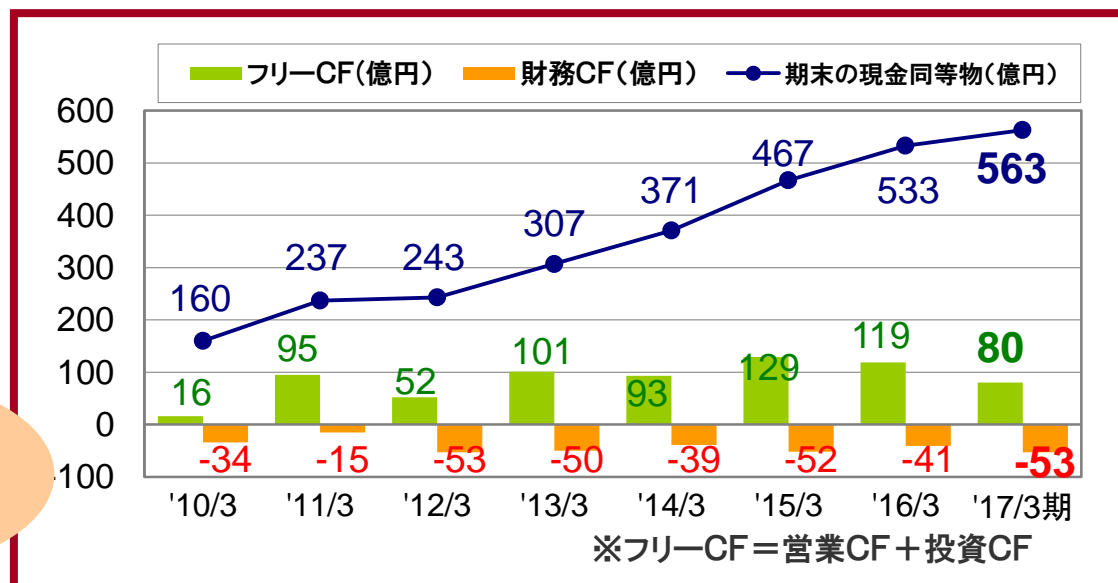
自己資本比率
34.4%

(2017年3月末現在/単位:億円)

■ 銀行借入金／純資産推移



■ キャッシュフロー推移





Ⅱ. 「**ONE**X**T** YAMAZEN 2018」の進捗と 会社のトピックス

取扱量の
拡大

付加価値
向上

経営基盤
安定化

amaze! in
YamazeN.

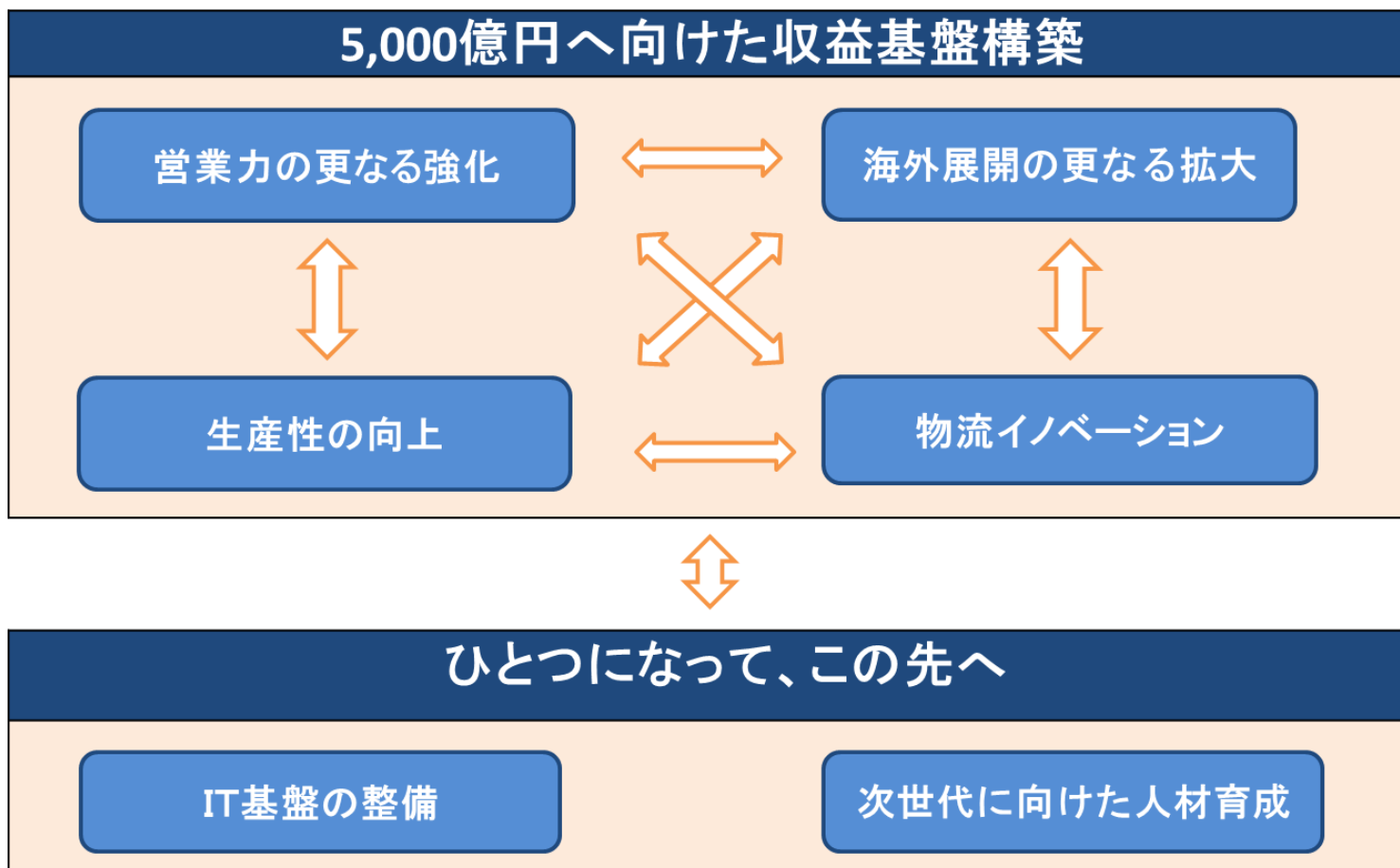
驚きは、山善の中にある。

*Beyond
Expectation*

モノづくりを支え、快適生活空間を創造する専門商社として、“Amaze”を提供し続ける

ONEXT YAMAZEN

2018 ひとつになって、この先へ。

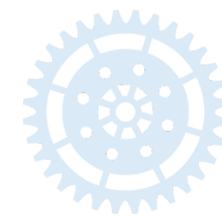


ONEXT 2018
YAMAZEN
ひとつになって、この先へ。



Next 1 (one) 生産性の向上

- Next 1-1) エンジニアリング機能の強化
- Next 1-2) eビジネスの更なる強化
- Next 1-3) 物流イノベーションの継続
- Next 1-4) ワークスタイル改革
- Next 1-5) 環境負荷の低減



Next 2 (two) 海外展開の拡大

- Next 2-1) グローバル・マーケティングの推進
- Next 2-2) グローバル・サプライチェーンの構築

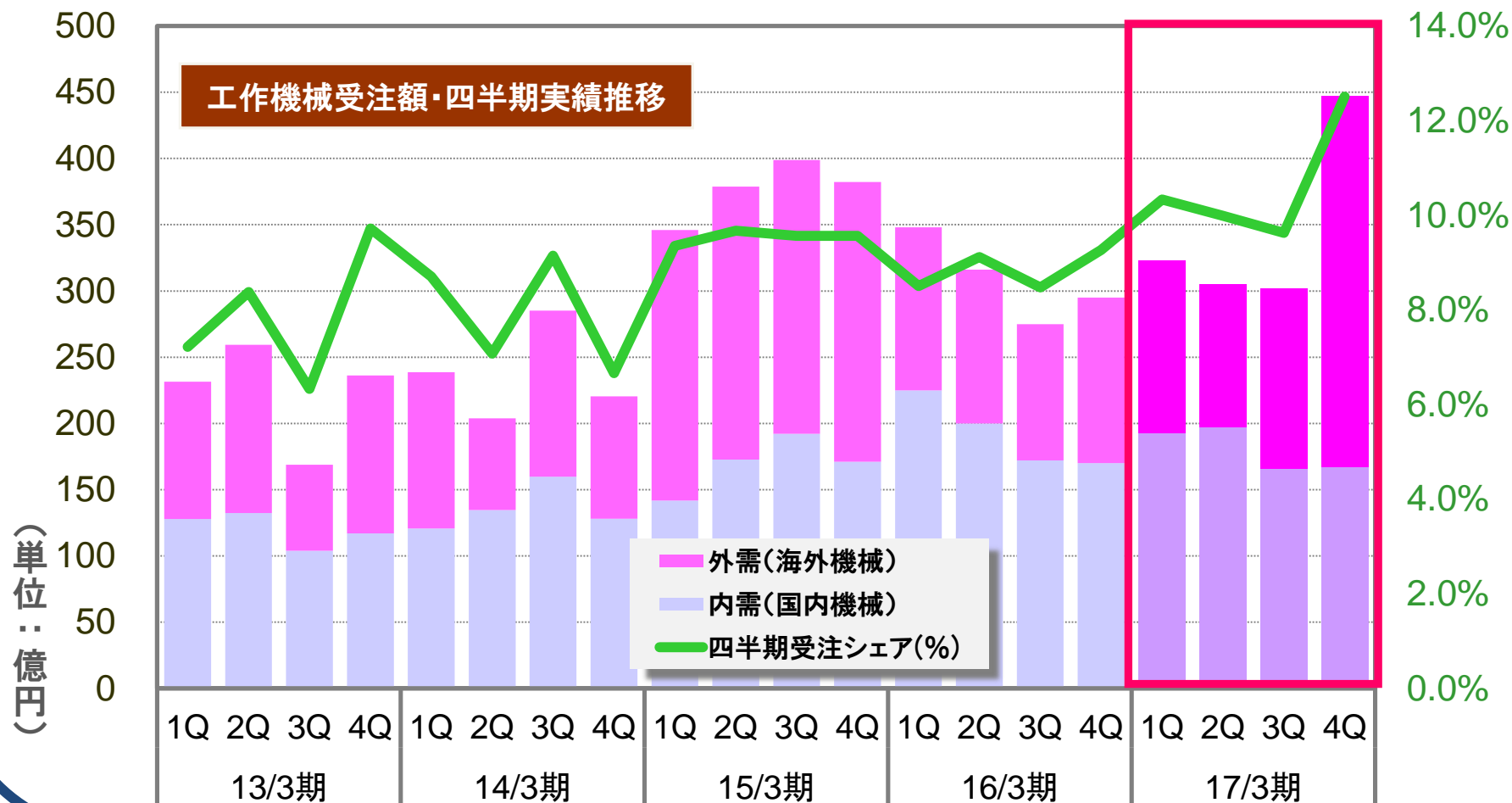


Next 3 (three) 次世代に向けた人材育成

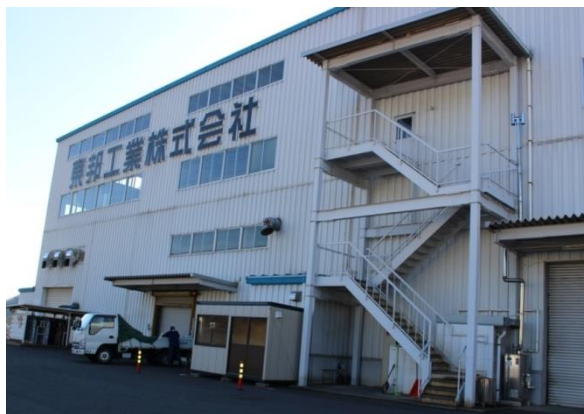
- Next 3-1) 人材教育プランの策定
- Next 3-2) 中途採用／有資格者採用の推進
- Next 3-3) 女性管理職の育成



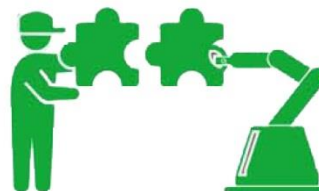
- 国内外工作機械年間受注額は1,380億円／年間累計シェアは10.7%*。
 ◎ 国内では機能補充、海外ではエンジニアリング力強化で商圏拡大へ。



- スマート・ファクトリー・ソリューション営業本部の設立(2017年4月1日)
- 東邦工業の完全子会社化(2017年4月11日)
 - お客様の現場に応じた提案力、技術コーディネート力の強化
- バリ取りの自動化の提案
- BCP.ERSの推進
 - コンサルタントと協業し、提案から導入までのワンストップサービスを提供



バリ取りの自動化の提案

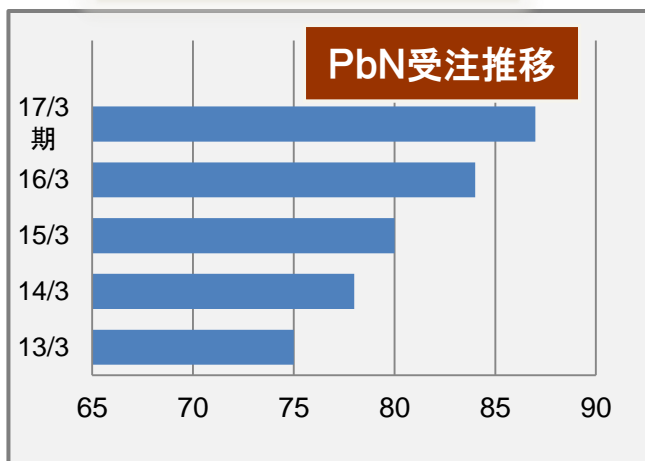


人とロボットの得意な部分を融合させる

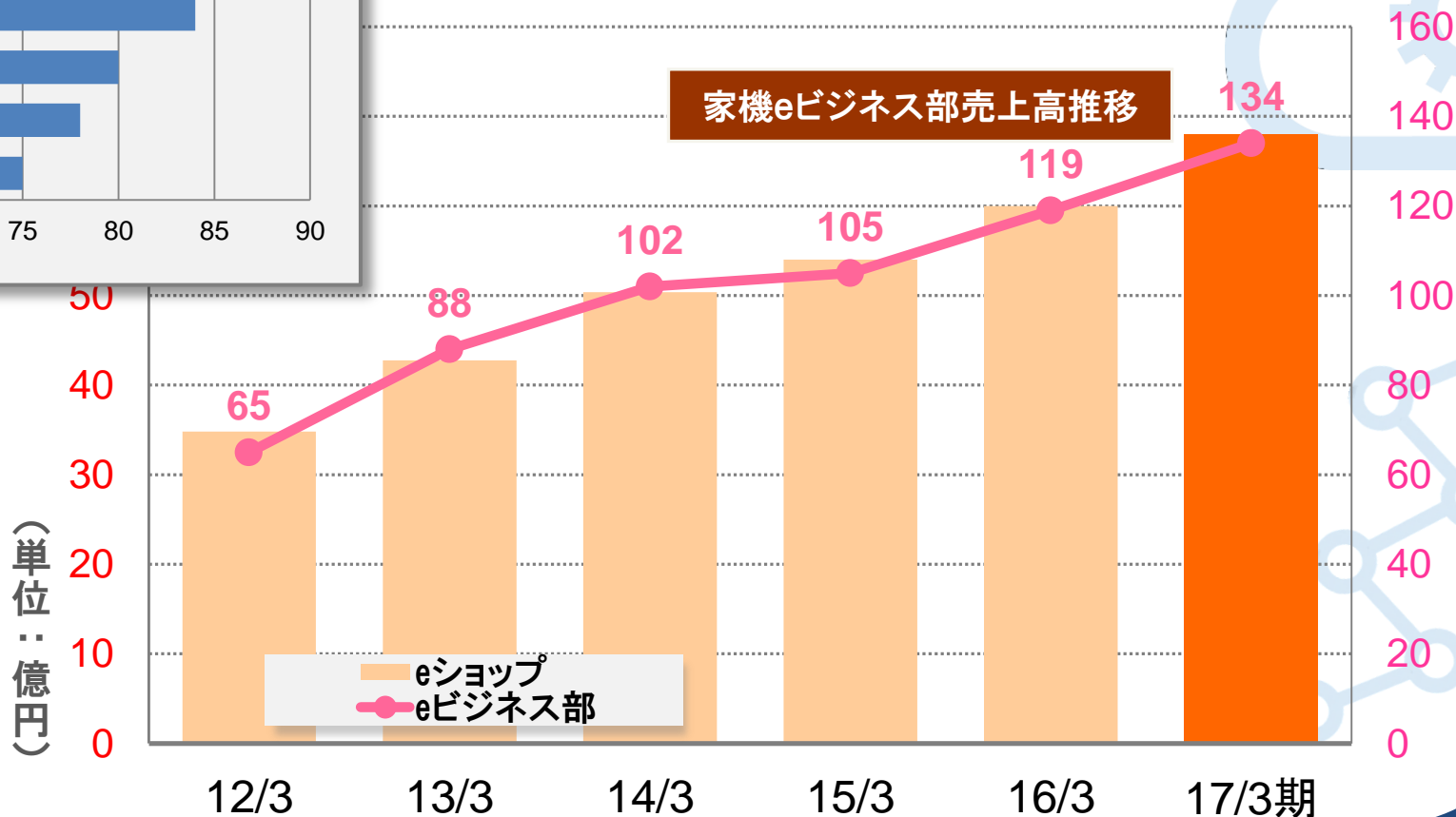
BCP策定からBCP対策まで

BCPERS
ビーシーパス

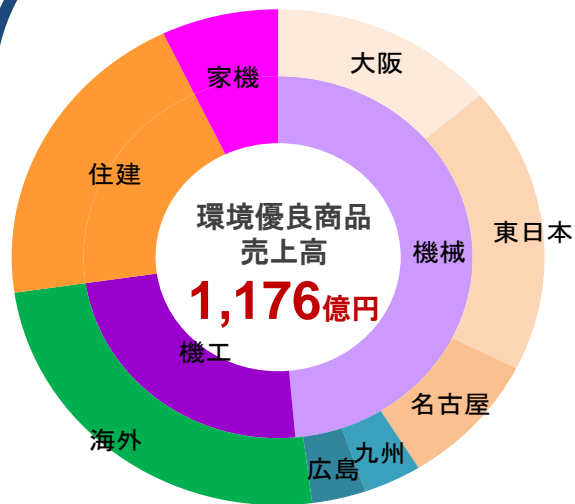
PROCUEBYNET



- 「くらしのeショップ」は11期連続増収、年商68億円へ。
- ➡ コンシューマ向けネット取引は年商200億円規模へ拡大する計画。



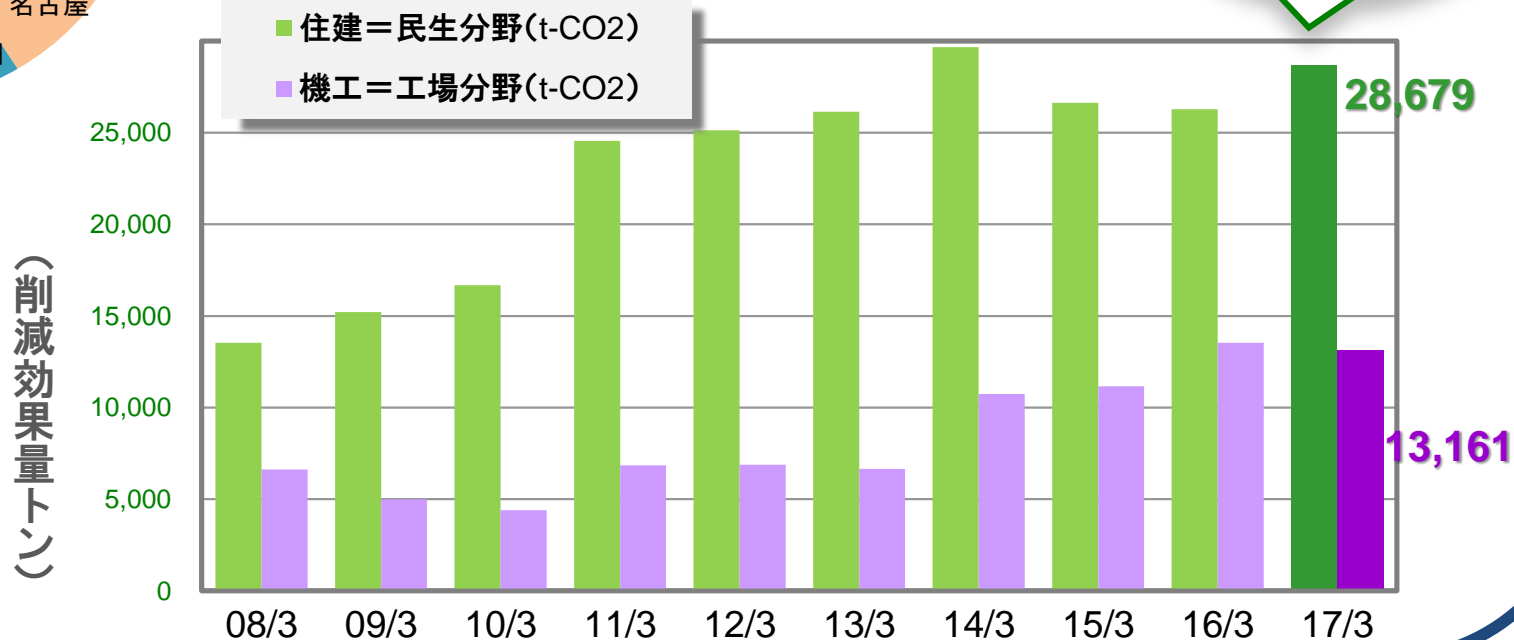
環境関連機器売上高



- 環境優良商品販売実績は1,176億円
- 「カーボンフリー企業」創出事業は5年目に突入。
4年間のカーボンフリー企業は 延べ705社、
オフセットしたクレジットは45,348トン
(全参加店合計)。

CO2削減効果量
41,840ton
クレジット譲渡量
18,578ton

グリーンボールプロジェクト実績



<カーボンフリー認証マーク>

■ 損益計画(公表計画)

(単位:百万円)	2016年3月期 (実績)	2017年3月期 (実績)	2018年3月期 (公表計画)	2019年3月期 (当初計画)
売上高	447,774	447,698	480,000	500,000
営業利益	13,258	13,113	14,000	14,700
経常利益	13,503	12,931	14,300	15,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,192	8,518	9,300	10,000

■ 主要財務指標(計画)

(単位:%)	2016年3月期 (実績)	2017年3月期 (実績)	2018年3月期 (公表計画)	2019年3月期 (当初計画)
総資産営業利益率 (R O A)	6.5%	6.1%	6.4%	6.5%
総資本回転率	2.2回	2.09回	2.16回	2.17回
キャッシュフロー・ マージン率	3.4%	2.5%	3.3%	3.5%



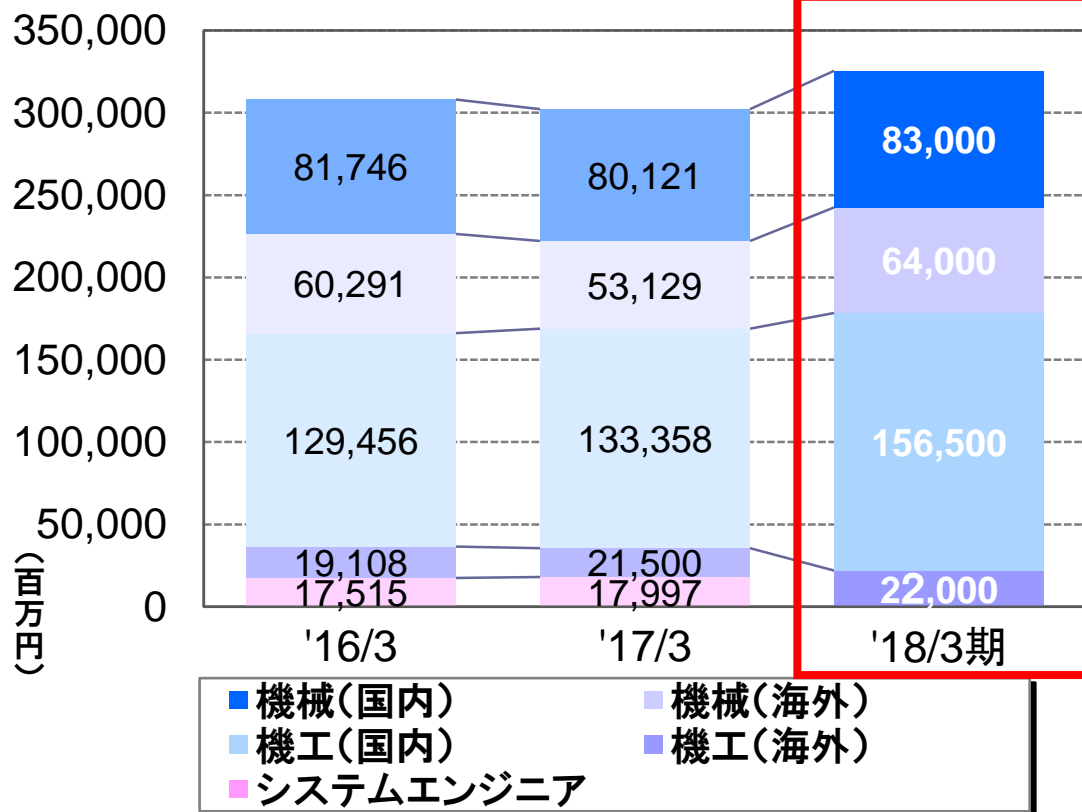
Ⅲ. 第72期(2018年3月期)の取り組み

 「ONEXT YAMAZEN 2018」第2年度として、目標に果敢にチャレンジ!

(単位:百万円)	2017年3月期(第71期)		2018年3月期(第72期)			
	2Q実績	通期見込	2Q計画	前期比 増減率%	通期計画	前期比 増減率%
売上高	208,335	447,698	230,000	10.4	480,000	7.2
営業利益	5,132	13,113	6,200	20.8	14,000	6.8
経常利益	5,105	12,931	6,300	23.4	14,300	10.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,379	8,518	4,200	24.3	9,300	9.2

(単位:百万円)		売上高計画	(増収率)	営業利益計画	(増益率)	(利益率)
生産財事業合計	通期	325,500	7.7	11,300	+ 8.9	3.5

生産財事業 3カ年売上推移



国内機工/仕入先上位100社売上計画

	カテゴリー	'17/3	'18/3	増減率
①	マテハン	11,050	12,520	113%
②	メカトロ	13,150	14,595	111%
③	環境改善機器	6,198	6,910	111%
④	流体機器	7,796	7,490	96%
⑤	鉄骨加工機械	5,712	6,390	112%
⑥	切削工具	15,155	15,670	103%
⑦	補要工具	6,735	7,000	104%
⑧	測定・計測	5,226	5,570	107%
⑨	産業機器	23,512	25,765	110%
⑩	空調設備機器	1,743	1,900	109%

* 当初のプレゼンに誤りが有りましたので、修正いたしました。5/29

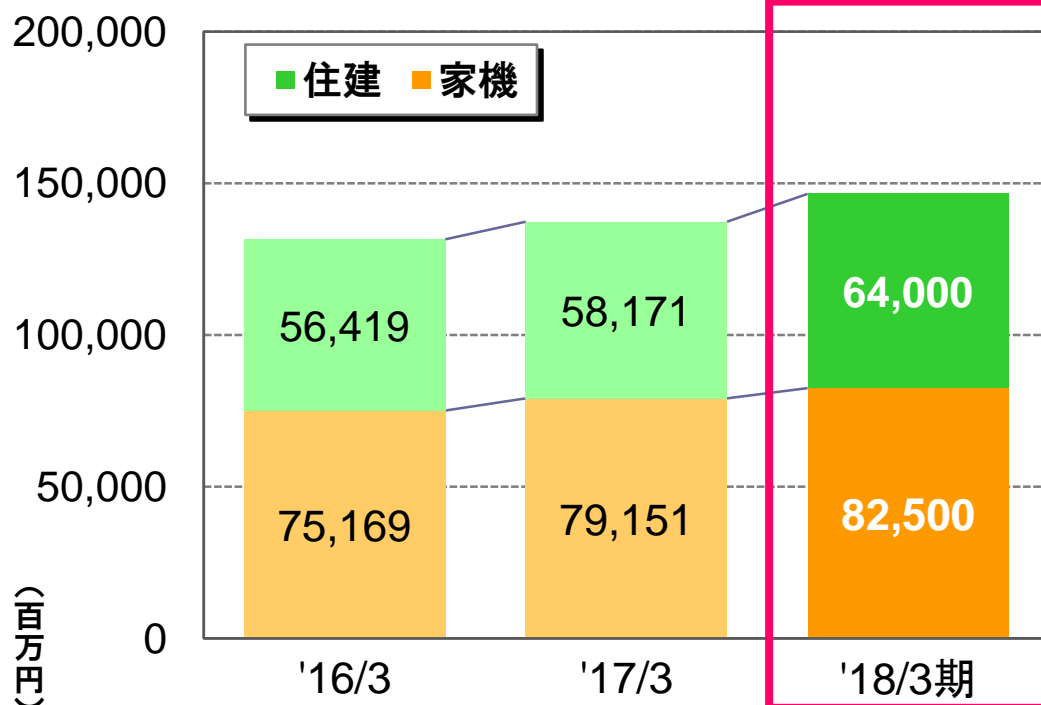
(単位:百万円)

(単位:百万円、%)	2017年3月期(第71期)	2018年3月期(第72期)	
	売 上 高	売 上 高	(前年比)
大 阪 営 業 本 部	56,892	59,210	104%
東 日 本 営 業 本 部	79,725	82,690	104%
名 古 屋 営 業 本 部	37,752	39,180	104%
九 州 営 業 本 部	16,920	17,880	106%
広 島 営 業 本 部	12,724	13,040	102%
S F S 営 業 本 部	26,911	27,500	102%
U S A 営 業 本 部	12,085	13,622	113%
台 湾 営 業 本 部	11,369	17,861	157%
中 国 営 業 本 部	25,140	29,082	116%
アセアン営業本部	21,285	23,205	109%

※ 2017年4月の機構改革に合わせ、71期の実績を一部組替え。

(単位:百万円)		売上高計画	(増収率)	営業利益計画	(増益率)	(利益率)
住 建 事 業 部	通期	64,000	10.0	1,700	18.5	2.7
家庭機器事業部	通期	82,500	4.2	2,800	0.1	3.4

消費財事業 3カ年売上推移



■ 住建／カテゴリ別売上計画

	カテゴリ	'17/3	'18/3	増減率
①	水廻り・給湯	25,429	28,000	110%
②	環境・空調・太陽光	20,892	23,000	110%
③	建設資材・他	11,850	13,000	110%

■ 家庭機器／PB売上計画

	カテゴリ	'17/3	'18/3	増減率
①	生活家電	25,199	26,650	106%
②	インテリア	9,598	10,500	109%
③	エクステリア・レジャー	7,984	7,200	90%
④	工具・園芸	3,326	3,900	117%

(単位:百万円)

(単位:百万円)		生産財	消費財		その他	合計
			住	建		
売 上 高	前期実績	302,187	58,171	79,151	8,188	447,698
	当期計画	325,500	64,000	82,500	8,000	480,000
	前期対比	107.7%	110.0%	104.2%	97.7%	107.2%
営 業 利 益	前期実績	10,373	1,434	2,797	△1,493	13,113
	(利益率)	3.4%	2.5%	3.5%	—	2.9%
	当期計画	11,300	1,700	2,800	△1,800	14,000
	(利益率)	3.5%	2.7%	3.4%	—	2.9%
	前期対比	108.9%	118.5%	100.1%	—	106.8%
	(増減)	+0.1	+0.2	△0.1	—	±0.0

※為替レート=前期:108.34円(期中平均) / 計画:110円

IV. 株主還元

■ 配当金の推移

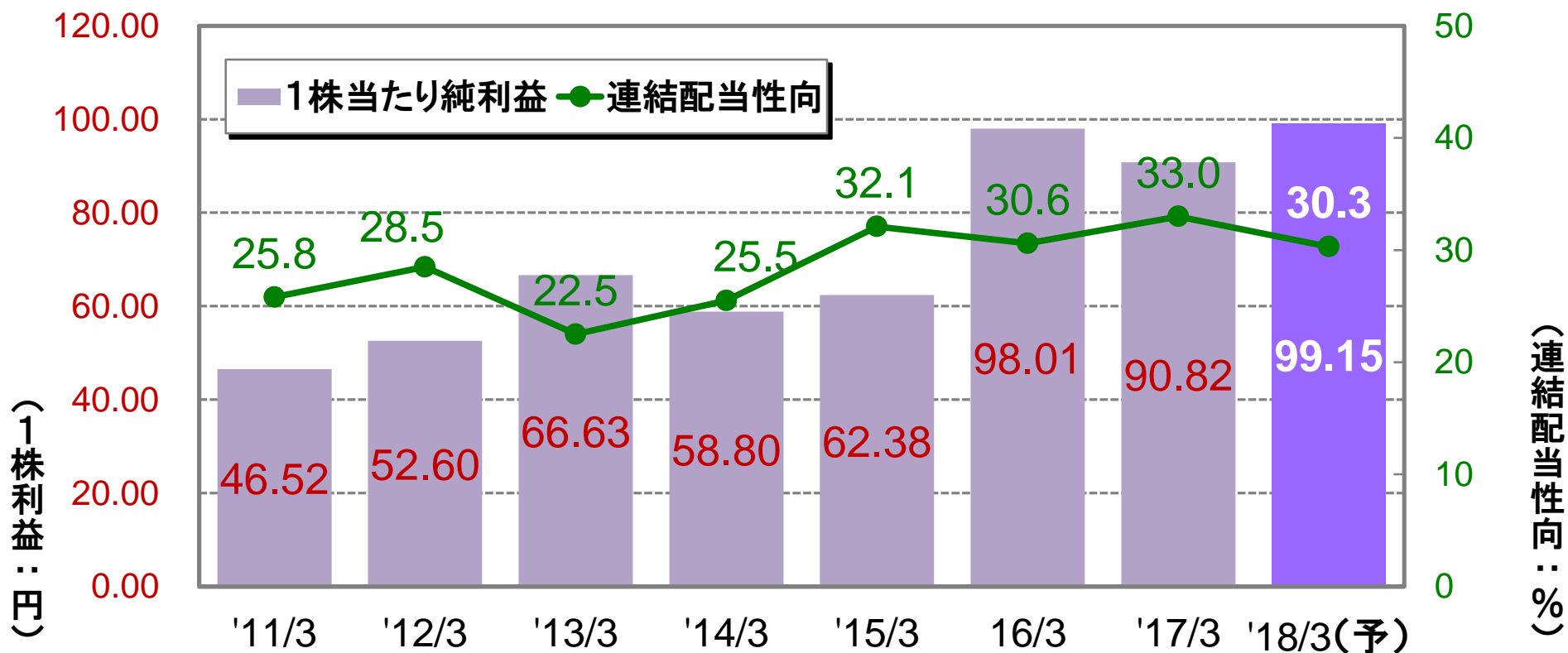
		'11/3	'12/3	'13/3	'14/3	'15/3	'16/3	'17/3	'18/3 (予)
連結配当性向(%)		25.8	28.5	22.5	25.5	32.1	30.6	33.0	30.3
配当金額 (円)	中間	5.0	7.0	7.0	7.0	8.0	12.0	*13.5	13.0
	期末	7.0	8.0	8.0	8.0	12.0	*18.0	*16.5	17.0

*は特別配当、記念配当を含む

□ 利益配分に関する基本的な考え方

- △ 安定した財務基盤の確立と収益力の向上を図り、株主の皆様への安定的な配当を基本とした上で、利益水準を考慮し利益還元を行うことを基本方針とします。
- △ 現3カ年中期経営計画では連結配当性向30%を目途に配当を実施し、さらなる配当水準の向上に努めてまいります。
- △ 内部留保金につきましては、株主資本の一層の充実を図りつつ、持続的な事業発展に繋がる有効な投資に充当し、中長期的な成長による企業価値向上を通じて、株主の皆様のご期待に応じてまいります。

- 2017年3月期の記念配当3円を普通配当に組入れ、年間で1株当たり30円の配当(中間配当13円、期末配当17円)を予定。
- 1株当たり当期純利益99.15円、連結配当性向 30.3%を予定。



項目(単位)		2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期
売上高成長率	(%)	6.7	10.3	2.7	△0.0
売上高営業利益率	(%)	2.4	3.0	3.0	2.9
ROA	(%)	5.6	6.9	6.5	6.1
ROE	(%)	10.3	9.7	13.9	11.9
時価総額	(億円)	639	926	802	940
自己資本比率	(%)	31.2	32.4	32.3	34.4
総資本回転率	(回)	2.33	2.30	2.19	2.09
キャッシュ・フロー・マージン率	(%)	3.3	4.1	3.4	2.5
株価上昇率	(%)	10.2	44.9	△13.3	17.2

経営理念

人づくりの経営

人を活かし 自業員を育成する

切拓く経営

革新と創造に挑戦する

信頼の経営

期待に応え 社会に貢献する

自主自律の考動指針

私たちは

- 一、基本と原則を守り
能力の開発と向上に努めます
- 一、使命と責任を果たし
相互信頼の絆を深めます
- 一、活力にあふれた行動で
明るい職場をつくります



切拓く
BREAKTHROUGH

二〇一七年 山善グループ経営スローガン

私たちは勢いのある会社を目指し
自らを大胆に変革して
全員で新たな時代を切拓こう

有言実行

自らの役割を認識し
やり遂げる強い信念を持って
最高の結果を勝ち取ろう



YAMAZEN



この資料には、当社の計画及び業績見通し等が含まれております。将来の計画や予想数値などは、現状の入手可能な情報により、計画・予測したものであります。実際の業績等は、今後の様々な条件・要素によりこの計画等とは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

本資料、個別ミーティングに関するお問い合わせ先

経営企画本部 経営企画部 広報・IR室

TEL: 06 - 6534 - 3095

／ FAX: 06 - 6534 - 3280

e-mail: info06@yamazen.co.jp